事業概要【（仮称）道の駅「くまがや」整備事業】

<table>
<tr><td>申請者</td><td colspan="6">埼玉県、熊谷市</td><td>初回採択回</td><td>令和７年度第１回募集</td></tr>
<tr><td>事業計画期間</td><td colspan="6">R7-R10年度</td><td>期間中の総事業費
（カッコ内はR7年度事業費）</td><td>1,913,861千円
（574,669千円）</td></tr>
<tr><td>経費の類型</td><td>ソフト事業</td><td>✓</td><td>拠点整備事業</td><td>✓</td><td>インフラ整備事業</td><td>✓</td><td>事業分野</td><td>観光分野</td></tr>
<tr><td>目的･効果</td><td colspan="7">新たに道の駅を整備する。観光総合案内窓口により、市の地域資源や「食」の発信、地域資源や周辺観光地への誘導を行う。農水産物等直売所･加工品販売所などにより、農産物の地産地消及び販路の拡大を推進するとともに、本市の野菜などを積極的にPRする。子どもの屋内遊び場により、季節や天候に左右されることなく、安心して子どもたちを遊ばせることができる。また、中心市街地と道の駅をつなぐ県道熊谷羽生線バイパスを整備することにより、利用者の増加や交流･物流の活性化を図る。</td></tr>
<tr><td>事業概要･
主な経費

※経費内訳はR7年度事業費</td><td colspan="4">【拠点整備事業経費】（主な経費）
〇食の棟（地域振興施設）
･農水産物等直売所･加工品販売所整備　77,275千円
･農産物加工･流通施設整備　15,191千円
･飲食施設整備　96,250千円
･多目的室兼調理室整備　16,286千円
〇子どもの棟（地域振興施設）
･観光総合案内窓口整備　2,602千円
･屋内遊び場整備　131,725千円
【インフラ整備事業経費】
･県道熊谷羽生線バイパス整備　130,000千円</td><td colspan="3">
東側からの眺め

西側からの眺め</td></tr>
<tr><td>地域の多様な
主体の参画</td><td colspan="4">設計、建設、維持管理、運営等の業務を一括して行うPFI事業者が主体となり、農産物の関係者が参画する生産者協議会の設立を目指し、農水産物等直売所の農産物の充実や振興を図る。
また、PFI事業者等との関係者協議会により、業務にかかる諸問題の迅速な問題解決を図り、連携して事業を推進していく。
PFI事業者が資金を調達する金融機関と市において相互に事業の状況を精査することで事業の円滑な運営を図る。
国との一体型整備として、休憩機能や国道と県道との交差点の形状等について適宜協議し、連携して事業に取り組む。</td><td>KPI

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</td><td colspan="2">①地域における観光消費額　（＋70億円）
②道の駅の売上額（＋4億円）
③農水産物等直売所･加工品販売所の利用者数（レジカウント数）（＋24万人）
④屋内遊び場利用者数（＋3.2万人）</td></tr>
</table>